

産業の発達

名前

解答

解答

- 問1 室町時代になると、農業が発達した。室町時代に広まったのは、二毛作と二期作のどちらか。
(二毛作)
- 問2 二毛作とは何か。
(同じ土地で1年に2種類の作物を作ること)
- 問3 二期作とは何か。
(同じ土地で1年に2回同じ種類の作物を作ること)
- 問4 室町時代には、定期市が各地に生まれた。定期市では、どのような銭が使用されたか。
(宋銭や明銭)
- 問5 室町時代には、商業が盛んになることによって、物資を運ぶ業者が活動した。この業者を何というか。
(馬借)
- 問6 室町時代には、商業が盛んになることによって、運送業を兼ねた倉庫業者が活動した。この業者を何というか。
(問)
- 問7 商人や手工業者が同業者ごとに作った団体を何というか。
(座)
- 問8 問7の団体は、武士、貴族、寺社などに税を納めることでどのような利益を得たか。
(保護を受け、営業を独占する権利を与えられた)
- 問9 裕福な商工業者は何と呼ばれたか。
(町衆)
- 問10 明や朝鮮との貿易によって栄えた都市で、自治が行われていた都市はどこか。
(博多、堺)
- 問11 室町時代に村で作られた自治組織を何というか。
(惣)
- 問12 農民同士の結びつきが強くなると、農民は借金の帳消しを求めて土倉や酒屋を襲ったりした。このような農民による武装蜂起を何というか。
(土一揆)
- 問13 問12の武装蜂起として、1428年に幕府に借金帳消しの徳政令を出すように求めたものがある。これを何というか。
(正長の土一揆)
- 問14 室町時代の農業では、かんがいには何を使うようになったか。
(水車)
- 問15 室町時代の農業では、肥料にある動物のふんの堆肥が使われるようになった。ある動物とは何か。
(牛馬)

